

夏休み最後の日。私は人権啓発劇「ふるさと」を観に行きました。学校の授業でハンセン病について学習し、大島青松園に西条市出身の方がお二人いらっしやることも聞いていたので、この劇は絶対に観に行こうと決めていました。早めに家を出たおかげで、前の方の席に座ることができました。幕が上がる前、周りをキョロキョロ見ていると、私の目に客席に座ろうとするお二人の姿が飛び込んできました。「ああ、帰ってきてくたさったんだ。西条の地に立つことができたんだ」という思いがこみ上げてきて、劇を見る前から泣きそうになりました。

劇の中では、小学生の主人公が療養所に行くためにお母さんと離れてしまう場面が、とても強く印象に残っています。お母さん役の方の演技に吸い込まれていくように見入ってしまった、涙が溢れて止まりませんでした。もう一つ、忘れられないのが療養所の現場監督が入所者に言った「おまえらは、人間じゃない」という言葉です。役だと分かっているながら、演じていた人が腹が立ってしまいました。私がこのとき感じた苛立ち以上のものを、患者（元患者）の皆さんは、ずっと感じてきたのだと思うと耐えられない気持ちになりました。その言葉に対し、患者役の人が叫んだ「わしらは人間じゃ」という言葉が、深く私の胸に突き刺さりました。

今回の人権啓発劇を観て、また新たなことをいくつも知り、私自身、ハンセン病を取り巻く差別や偏見をなくすために何か動き出せそうな気がしています。私は人権啓発劇「ふるさと」から、そして、お二人のすてきな笑顔から、ものすごい力をもらいました。お二人のお帰りは、私の喜びです。劇のフィナーレで、溢れ出る涙をぬぐいもせず、一生懸命拍手していた自分の姿を、あのときの気持ちを、私はずっと忘れずいたいと思います。

磯野さん、本田さん。本当にありがとうございます。また、西条で会える日を心から楽しみに待っています。そのときは、またすてきな笑顔をよろしく願います。

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

■まごころ銀行へ

▽西川満孝（楠）▽廣田義則（高田）▽青野準逸（丹原町願連寺）▽西条市総合文化会館友の会 うたごえ喫茶▽竹ダンス▽国際ソロプチミストいしづち▽国興産業(株)▽中川さくら保育園保護者会

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）▽散髪 伊藤泰博（明神木）▽新聞 芥川秀人（神拝甲）▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）▽だんじり訪問・清酒 百軒巷自治会、松之巷自治会▽だんじり訪問・りんご 八丁自治会▽歌・踊り ひまわり幼稚園

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部▽作業奉仕 東予高等学校▽物故者回向 丹原仏教会

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽歌・踊り ボランティアしらすぎ▽除草作業奉仕 東予高等学校▽居室清掃 曾我部美知子・鈴鹿夏未（小松福祉作業所）▽物故者回向 丹原仏教会

■名誉市民・十河信二氏に関する 図書が寄贈されました

十河信二記念館名誉館長の十河新作氏から、「新幹線生みの親」と呼ばれている名誉市民・十河信二氏の英文伝記「Old Man Thunder~Father of the Bullet Train」と、その朗読テープ一式が市に寄贈されました。



市内すべての小・中学校や公民館などに配布する予定です。

■街路灯が寄贈されました

四国電力(株)西条営業所から市へ街路灯22灯が寄贈されることになり、10



月21日(火)に市長に目録が手渡されました。この街路灯寄贈は「よんでんグループふれあい旬間」事業の一環として、明るいまちづくりに貢献するため、平成4年から毎年行われており、今年度で合計658灯寄贈されています。

■応急手当普及啓発資器材が寄贈されました

11月1日(出)に、東予ライオンズクラブから、応急手当普及啓発資器材（心肺蘇生訓練人形1体、AEDトレーナー1基）が市に寄贈されました。「生命の大切さ」を救命講習会でたくさんの市民に知ってほしいとの趣旨から寄贈いただいたもので、今後、西消防署の救命講習会で活用させていただきます。



▼寄贈された応急手当普及啓発資器材

